



農業をとりまく状況はきびしい

**問** (荒松議員)

小・中学校の耐震補強工事や大規模改修が多数計画されている。学校統合の議論はなされたか。

**答** (山田教育長)

学校統合については、公式にはまだ協議していない。

教育委員会事務局としては、町民の合意を得ながら、財政状況も勘案し、早い時期に結論を出したい。

本年度中にも意見交換会を開催したい。

**産業振興**

**問** (荒松議員)

これまで、町長は農業開発公社の設立を持論としていたが、基本構想に含まれていない。考えがなくなったと認識してよいか。

**答** (山口町長)

農政も変わってきており、今は農業公社にこだわっていない。集落営農、農産物の加工・販売など、組織化していく方法があればよいと感じている。

**定住対策**

**問** (西尾議員)

平成27年度の人口目標を1万9千人としているが、現状から見た推計値は約1万6千人。目標設定として妥当なのか。

**答** (後藤企画情報課長)

審議会でも随分議論をした。現在の減少傾向は否めないが、大山恵みの里構想の施策展開により定住促進を図り、目標人口に近づけていきたい。

**環境**

**問** (吉原議員)

自然環境との共生がうたっているが、素晴らしい景観を、大切に後世に残していくために、景観行政団体の指定を受けるべきでは。

**答** (山口町長)

県が景観行政団体として計画作りを進めている。町民の理解も必要であり、当面は県の景観条例の範囲で取り組んでいく。

**住民参画**

**問** (近藤議員)

3月定例会で町長は、総合計画等では可能な限り数値目標を掲げ、住民の理解を得たいと発言した。重要な項目で、数値が示されていないものもある。町長の考えは十分に反映されているか。

**答** (山口町長)

数字で表わせるものは数値目標を設定すると意思統一して取り組んでおり、担当課長を通じ、私

**問** (森田議員)

住民自治組織の機能強化について、町民全体の町づくりをどのように取り組むか。

**答** (後藤企画情報課長)

公民館や小学校区単位でまちづくり協議会を設置し、町民と行政が協働するまちづくり体制を構築したい。モデルとなる地域を指定し推進していく。

**財政**

**問** (西尾議員)

人口が減少すれば、交付税等財政推計にも影響する。財政的な裏づけは大丈夫か。

**答** (山口町長)

交付税制度の見直しにより、地方財政が不透明になっている。基本計画、実施計画の実施については、その都度財政を推計し取り組んでいきたい。

**男女共同参画**

**問** (遠藤議員)

男女共同参画社会の推進に関し、男女共同参画プランの策定が計画されているが、策定の時期、策定委員の男女比は。

**答** (近藤企画推進課長)

今年度中に策定する。すでに委員会は男性3名、女性5名で設置している。



国信地区の伝統行事